

アムジェン (AMGN)

「オテズラ」の新型コロナ治療薬への適応拡大試験、および開発パイプラインの第3相試験に期待

ナスダック | バイオテクノロジー | 業績レビュー

BLOOMBERG AMGN:US | REUTERS AMGN.O

- 2020/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比6.0%増の59.08億USD、Non-GAAPの調整後純利益が同3.9%増の25.18億USDの増収増益。
- 2019年11月に134億USDで買収した「オテズラ」(乾癬治療薬)の売上高が5.61億USDに上り、増収に寄与。「レパーサ」は値下げで販売拡大。
- 「オテズラ」の新型コロナウイルス治療薬への適応拡大試験、および開発パイプラインの「テゼペルマブ」や「オメカチブメカカルビル」における第3相試験結果に期待がかかる。

What is the news ?

7/28発表の2020/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比6.0%増の59.08億USD、Non-GAAPの調整後純利益が同3.9%増の25.18億USD。調整後EPSは自社株買いにより同7.1%増の4.25USD。売上構成比で最大の「エンブレム」(関節リュウマチ治療薬)がバイオ後続品との競合が響き、同9%減収(12.46億USD)となったものの、2019年11月に米セルジーン社から134億USDで事業を継承した「オテズラ」(乾癬治療薬)の売上高が5.61億USDに上ったこと、および高コレステロール血症治療剤「レパーサ」が値下げ効果による販売数の増加で同32%増収となったことが業績に寄与した。それに加え、「イベニティ」(骨粗鬆症治療薬)や「MVASI」(癌治療薬)などが好調だった。なお、8/31に同社株はバイオテクノロジー銘柄として史上初めてダウ平均株価の構成銘柄に新規採用された。

How do we view this ?

2020/12期通期会社計画を上方修正。売上高は250-256億USDと従来計画を据え置いたが、調整後EPSを15.10-15.75USDと従来目標(14.85-15.60USD)から引き上げた。新薬開発パイプラインの更新、臨床試験の増加、および調整後営業費用増加率を1桁台後半に抑える見通しであることなどが上方修正の理由。同社は2Q期間中に260万株(5.91億USD)の自社株買いを実施。通期の自社株買いを当初会社計画(30-50億USD)の下限近い水準で実施する方針である。

同社は4月初め、血液診断大手**アダプティブ・バイオテクノロジーズ(ADPT)**とパートナーシップを締結し、過剰免疫反応により重篤な障害を引き起こす新型コロナウイルス患者の治療薬候補として「オテズラ」の適応拡大試験を計画している。また、同社CEOが「今年後半に幾つかの重要なパイプラインが更新されると強く期待している」と述べた通り、喘息およびアトピー性皮膚炎の治療向けに設計されたヒトモノクローナル抗体「テゼペルマブ」や心不全薬候補の「オメカチブメカカルビル」の第3相試験の結果が年内に発表される予定。

同社の主力医薬品がバイオ後続品の脅威に晒される端境期にあること、および年間約6億USDの設備投資負担が短期的には業績への懸念材料であるものの、「オテズラ」や「テゼペルマブ」ならびに「オメカチブメカカルビル」などの試験結果によっては持続的な成長が見込まれよう。

業績推移

※参考レート 1USD=106.24円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万USD)	22,849	23,747	23,362	25,423	26,549
当期利益(百万USD)	1,979	8,394	7,842	6,764	7,891
EPS(USD)	2.69	12.62	12.88	11.43	13.53
PER(倍)	92.34	19.68	19.29	21.73	18.36
BPS(USD)	34.95	19.85	16.37	19.69	22.30
PBR(倍)	4.98	9.81	14.73	12.62	11.14
配当(USD)	4.60	5.28	5.80	6.38	6.76
配当利回り(%)	2.65	2.71	2.41	2.57	2.72

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD)	6.38	(予想はBloomberg)
終値(USD)	248.40	2020/9/4

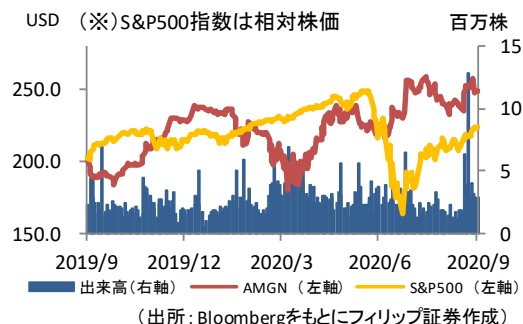
会社概要

1980年に創業。遺伝子組換え技術や分子生物学的技術を軸とするバイオテクノロジー企業。多様なヒト治療法を発見・開発・製造・提供する。主に循環器疾患、癌、骨疾患、神経疾患、腎疾患、炎症性疾患などの治療薬の研究開発を手掛ける。バイオ後続品(国内で承認済みのバイオ医薬品に関する特許が切れたあとに発売される医薬品)にも注力している。

同社の製品ポートフォリオには「エンブレム」(関節リュウマチ治療薬)、「プロリア」(骨粗鬆症治療薬)、「ニューラスタ」(白血球を増やすG-CSF製剤)、「オテズラ」(乾癬治療薬)、「レパーサ」(高コレステロール血症治療剤)「イベニティ」(骨粗鬆症治療薬)、「MVASI」(癌治療薬)などがある。

企業データ(2020/9/8)

ベータ値	0.80
時価総額(百万USD)	145,486
企業価値=EV(百万USD)	168,289
3ヵ月平均売買代金(百万USD)	643.5



主要株主(2020/9)

1.VANGUARD GROUP	8.34
2.ブラックロック	8.32
3.CAPITAL GROUP COMPANIES INC	6.40

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

李一承
 icheng.lee@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

笹木和弘
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。